

Trabe  loque
ep12. 桜咲くみち



京都駅で嵯峨野線に乗り換え。自転車は折りたたんでバッグの中。
目的地は下山駅なんだけど、快速はその一つ前の駅までしか行ってくれない。
普通なんてもっと手前。ま、いっか。





京都市内を抜け、トンネルをいくつか通ると単線になっていた。
灯らしきものが何もない。夜はあまり運転したくない、ような気がする。





1時間ほどで胡麻駅に到着。

この先へ行く電車が出るのは、約40分後と運転手さんが教えてくれた。
待つ、、、のは退屈だからここから始めようか。どうせ一駅のことだし。



自転車を組み立てて出発。駅なんだか店なんだか、、、あ、オンボロ跨線橋撮るの忘れた。



この辺りは杉なんかの針葉樹が少ないんだな。秋の紅葉もよさそうだ。
山のあちこちで桜が咲いてる。
鶯も鳴いてる。
登りたいな。登ったら風が気持ち良さそうだな。
この山の音はどんなだろう。



分かれ道に桜かぁ。

道が分かれるだけではなくて、ここは分水界。
あの桜の向こう側に、水分の路の看板がたっている。
桜のこっちに降った水は大阪湾へと流れていき、
向こうに降った雨は日本海に流れる。

だから、桜の花びらもこちらに散ったら大阪湾へ、
あちらに飛んだら日本海へ、、、
流れて行くわけがない。



この道、ほんと桜が多い。ちょうど今が満開。
京都市内ではそろそろ散り始めているけれど、一週間遅れぐらいかな。
この辺りは、平均気温が5度ぐらい低いから、桜も少し遅れてやってくる。

なんだけど、さっきから臭い。



と思ったら、おまえかあ。
いくつか牧場があって、しかもその牛舎が道路沿いに
建てられているものだから、匂いが漂ってくる。
動物園のバッファローの檻の側を通っている
ような匂いがする、、、笑えてきた。



分かれ道から長い長い坂に入ったんだけど、ここを降ったら
もし道を間違えていても戻る脚力が無い気がする。
あの人に聞いてみよ。
「すみません、ここを行ったら下山の方に行けますか？」

「はいはい、この先ニュータウンの脇をまわって、」

にゆーたうん？ にゆーっとした、うん？

「その先を右の方へ行ったら下山。右の道行ったらワチ。左はバイパスにつながってます。ええ天気によかったですねえ、ほな頑張る。」

「はい。」

えーと右って、2回言われたよなあ。ワチ？バイパス？まあ、ええか。

「どうもありがとうございました。」

右手にもってのは水仙の花、きれいだな。



ああ、あれがニュータウンか。そして下山駅はこの上り坂、、、今ずーっと下ってきたよな。



ついさっき、電車が通過する音がした。追い越されたんだろうな。
田舎の一駅をなめていたぜ？
いや、違うな、道草ばかりしてるからだ、きっと。







山が川に削られて谷ができて、そこに砂が溜まって
川に沿った平地ができて。
人が住み着いて耕して、棚田ができて、村ができる。
それから何度も何度も桜が咲いて、、、
そんな風景だな。
日本のいろんなところにあるんだろうな。



なんだか、花火が弾けた瞬間のような咲き方。



下山駅に着いた。。。ここから出発する予定だったんだけど。





普通電車が1時間に1本。
通過して行く特急があるので、登りと下りで1時間に
4本ぐらいしか通過しない踏切。
電車より人の方が少ないかもしれない。
遮断機必要かなあ。







クルマが来ないので本当に乗りやすいなあ、、、なんて、
いい調子で写真撮ってるから、なかなか目的地につかないんだよ。
サイクリングというより、下校中の小学生みたい。



ヤマツツジかな。ときどき雑木林に群生していることがあるけど、濃い紫色が、周りの植生とかけ離れていて見るたびにびっくりする。



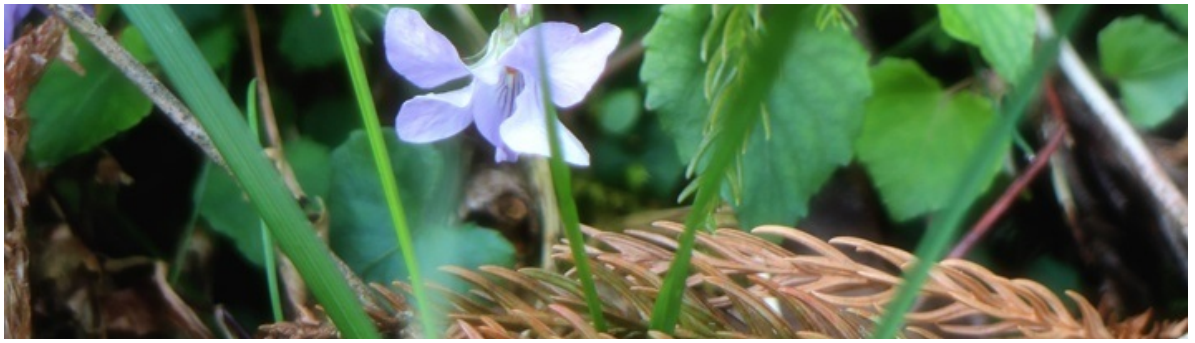
シヨウジヨウバカマっぽい。こういうのが道端に普通に生えてる。





紫のはスミレだろうけど、白いのは何かなあ。
って、目的地に全然つかない！







質美の入り口まで来たっばい。

この辺りは竹藪がないんだなあ。地元はちょっと走ると竹林だもの。

最近竹藪見ても、当たり前すぎて情緒も何も感じない。



ピンクのコブシの花。

ここまで走ってくるまでに、何本かのコブシを見たけれど
ピンクのはここが初めて、、、うふ、ちょっとゴシックホラー

とかに出て来そう。。。来ないって。



珍しい形の蔵だけど、ここで何事か詮索していると
また到着が遅くなる。
白壁が綺麗、と思うだけに留めておこーっと。



着いた。

※右クリックで画像を別画面で開くと、大きなイメージ見れるはずです。









こんなに桜の木が多かったんだ。
咲いて見ないと分からないものだなあ。





前に来たときから、ずっと見たいと思っていた景色だ。

[Travelogue ep.9 このPizzaは出前を頼めない](#)

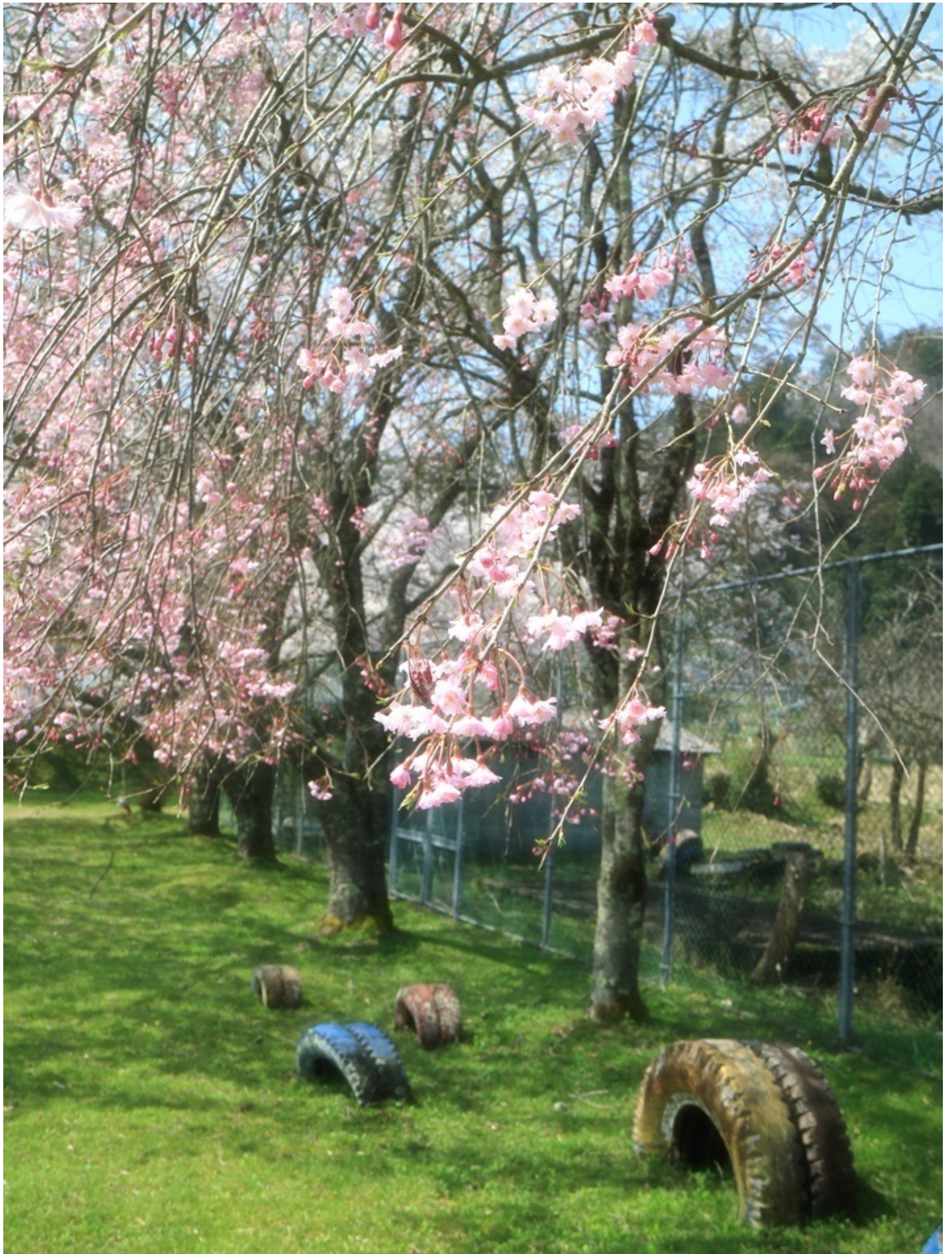
いや、想像をはるかに越えてたな、これは。

早起きとか、初めての輪行とか、開花のタイミング予想とか、
お天気とか、道がよくわかんないとか、出かける前に
折れそうになる要素が沢山あったんだけど、来てよかったあ。

















以前もこれ撮ったぞ。

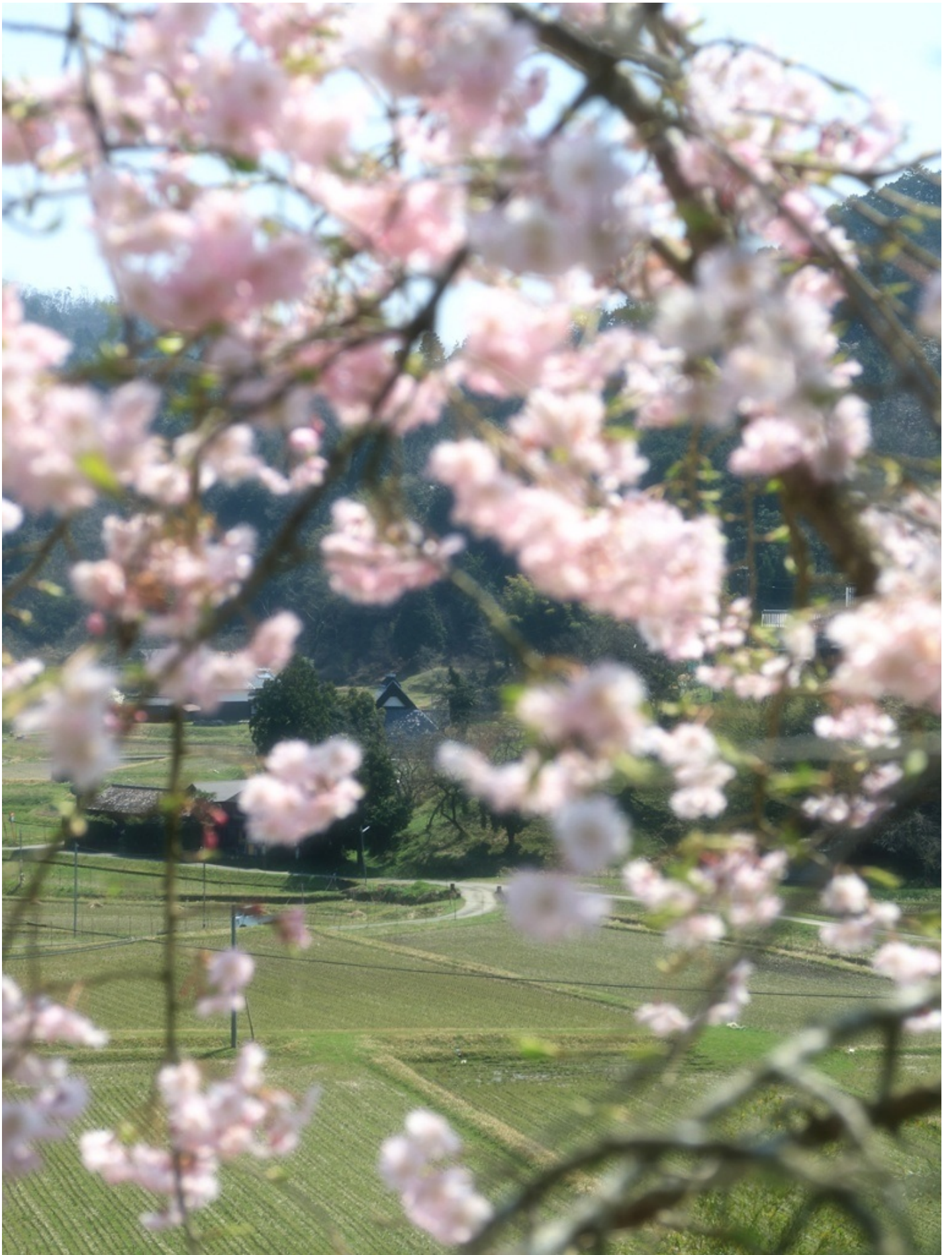








自転車で来て、本当によかった。



そろそろ帰るかな。田植えのころも、良さそうだなあ。



古い集会所

風雪に耐えた木の色。この辺りは、冬は結構降るんだらうなあ。

ホース格納箱の足。石で高さを揃えてあるのが可愛い。

誰かがちょうどいい高さのを探しておいたんだらうなあ。



お地蔵さんというよりは、道祖神だろうな。
頭に冠を被っているところが、そんな感じ。



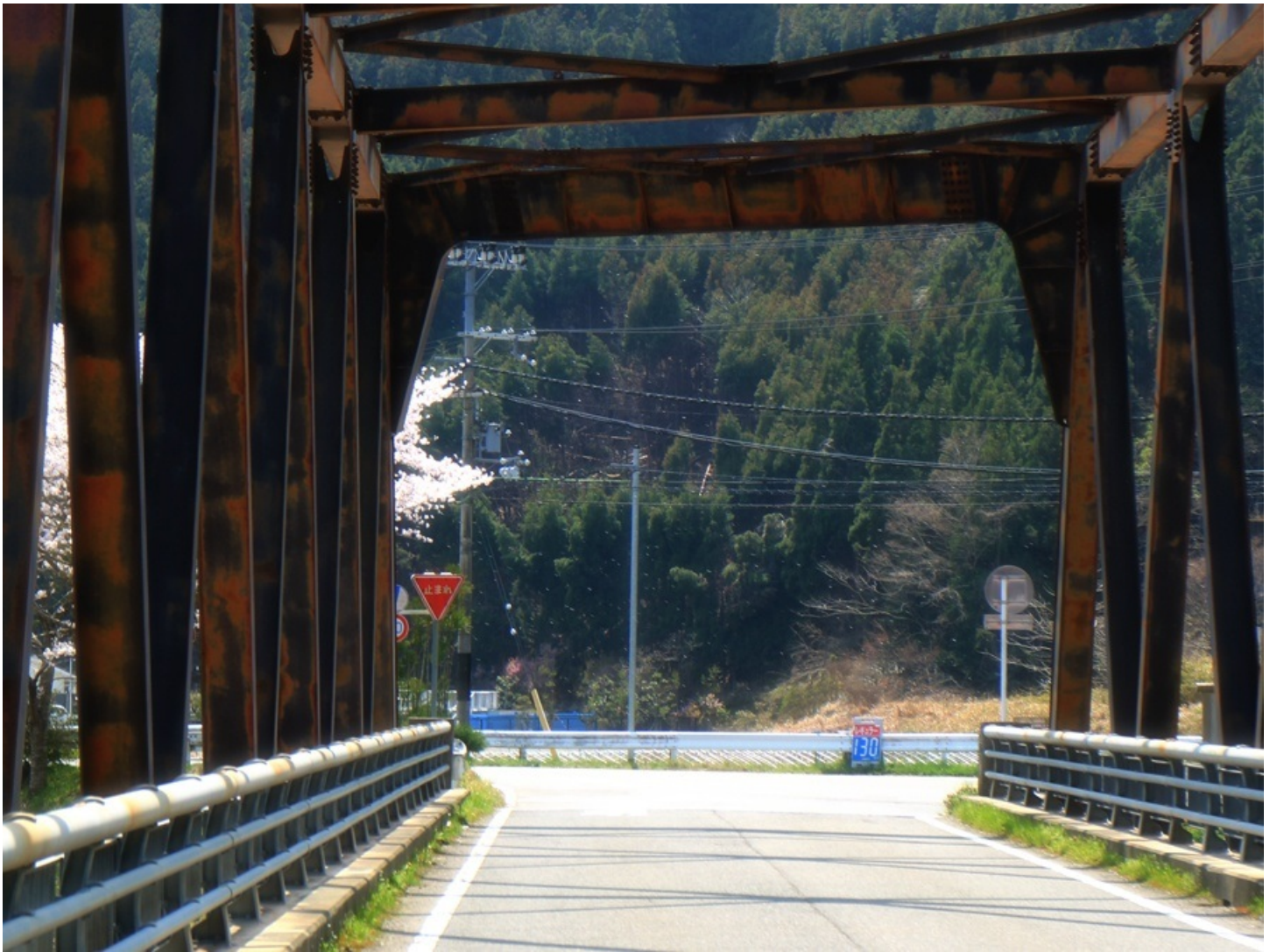
下りだー、楽だー、スピード出るー。



人だ。
1人/時間ぐらいの人口密度。







川筋に沿って、強い南風が遡ってくる。
その風に、鉄橋の向こうの桜が花びらを散らし始めた。
この辺りは山陰にならないので、日当たりがいいんだろう。
他の桜よりも幾分早く開花したんだろうなあ。
桜には桜の事情があるってもんさ。



お行儀よく整列しているところが可笑しい。



さて船岡駅で電車待ち。次の電車は50分後。
もはや1キロ足りとも走れません。
自転車はバッグの中。コンビニは、途中に一軒しか
なかったな。

次はどこを走りに行こうかな。

真下魚名の既刊

[京都路地入-Kyotologie- 学校の桜](#)

[passer un après-midi 14](#)

[コトノコト II](#)

[コトノコト](#)

[京都路地入-Kyoutologie- 雪 嵐山](#)

[Essai](#)

[からくれないに V](#)

[からくれないに IV](#)

[からくれないに III](#)

[からくれないに ni](#)

[からくれないに](#)

[林檎の樹の下で](#)

[Travelogue ep.11 青い森の国へ](#)

[晩夏を探して II](#)

[京都路地入-Kyotologie- 八朔](#)

[京都路地入 -Kyotologie - 前祭](#)

[Flower Garden III Hydrangea](#)

[Flower Garden III](#)

[お散歩カメラ](#)

[京都路地入-Kyotologie- 軒の下ガーデン](#)

[Travelogue ep.10 ランチに間に合えば](#)

[たそ彼時まで](#)

[京都路地入-Kyotologie- 鴨川](#)

[passer un après-midi 13](#)

[梅催い、晴れ](#)

[京都路地入-Kyotologie- 二条通](#)

[passer un après-midi 12](#)

[京都路地入-kyotologie- えべっさん](#)

[京都路地入-kyotologie- 京都駅0番線](#)

[le temps](#)

[京都路地入-kyotologie- 御所一般公開](#)

[Travelogue ep.9 ここのPizzaは出前を頼めない](#)

[京都洛以外-Kyoto Lucky guy 2](#)

[Travelogue ep.8 タルトまで60km](#)

[京都路地入-kyotologie- 萩を巡りて](#)

[Travelogue ep.7 晩夏を探して](#)

[passer un après-midi 11午後の過ごし方](#)

[京都路地入-kyotorogie 祇園祭 後編](#)

[京都路地入-kyotorogie 祇園祭](#)

[京都洛以外-kyoto Lucky guy 三室戸寺](#)

[京都路地入-kyotorogie 一保堂](#)

[京都路地入-kyotorogie 無鄰庵 茶室](#)

[京都路地入-kyotorogie 無鄰庵](#)

[京都路地入-kyotorogie 吉田山](#)

[サマータイム・ブルーズ2](#)

[京都路地入-kyotorogie 一条通](#)

[桜守りの庭](#)

[後編](#)

[Travelogue ep.6 嵐電 後編](#)

[Travelogue ep.6 嵐電](#)

[梅催い、雨模様](#)

[「passer un après-midi 10午後の過ごし方」](#)

[冬の手紙2](#)

[冬の手紙](#)

[空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+4.5](#)

[空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+4](#)

[ilminaria 2](#)

[ilminaria](#)

[Flower Garden II](#)

[Travelogue ep.05 山へ行く](#)

[Flower Garden](#)

[Travelogue ep.04 蓼科へ](#)

[passer un après-midi 9 午後の過ごし方](#)

[Monochroque](#)

[passer un après-midi 8 午後の過ごし方](#)

[passer un après-midi 7 午後の過ごし方](#)

[空と菖蒲と、蓮と](#)

[空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+3<](#)

[空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+2](#)

[Travelogue ep.03 近つ淡海](#)

[passer un après-midi 6 午後の過ごし方](#)

[Photo「空と窓と、京都水族館はペンギンで一杯です」](#)

[「passer un après-midi 5 午後の過ごし方」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+1」](#)

[Photo「花水硝」](#)

[「passer un après-midi 4 午後の過ごし方」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou」](#)

[「passer un après-midi 3 午後の過ごし方」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです Qu」](#)

[「passer un après-midi 2 午後の過ごし方」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです nYa」](#)

[「passer un après-midi 午後の過ごし方」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです na」](#)

[「Travelogue ep.02 桜巡り」](#)

— 僕カノシリーズ —

[「僕が彼女に殺された理由（わけ）」](#)

[「僕と彼女の選択の事由（わけ）」](#)

[「僕と彼女はそれしか答えを見つけられなかった」](#)

[「僕と彼女はそれでも答えを探し続ける」](#)

[「僕と彼女と複雑な関係者たち」](#)

[「僕と彼女と単純な関係式」](#)

[「僕と彼女と校庭で」](#)

[「僕と彼女と校庭で 夏」](#)

[「僕と彼女のアリア」](#)

[「黄金の麦畑」 1.Largo](#)

[2.Allegro molto](#)

[3.Adajo](#)

[「黄昏の王国」](#)

[イーリアス編](#)

[アリスア編](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです na」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです mu」](#)

[「Travelogue ep.01」](#)

[Photo「Hina」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです itu」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです yo」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです mi」](#)

[Photo「bleu, jaune, vermillon」](#)

[Photo「H.45」](#)

[Photo「Fly me to Paris I～XIV」](#)

[Photo「祇王 こげのころも」](#)

[Photo「空と雨と6月と」](#)

小説

[「ネガティブズ2」](#)

[「ネガティブズ」](#)

[Photo「空と僕と自転車とni」](#)

[Photo「空と僕と自転車と」](#)

[Photo「空と椿と木蓮と、そして花水木」](#)

[Photo「空と雲と、ぜんぶ鳥のいたずら」](#)

[Photo「空と雲と、ときどき春の野に行く」](#)

[Photo「空と月と、夜桜デート」](#)

[Photo「空と木と、ときどきの梅暦」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです ni」](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです」](#)

[Photo「空と木とたまに月」](#)

[Photo「空と雲と、ときどき月」](#)

[Photo「夢みる桜」](#)

— その他 —

[傘がない](#)

[夕暮れの赤ちょうちん](#)

[いもうと](#)

[サマータイム・ブルーズ](#)

[危険なドライビングマジック](#)

[デフラグメント](#)

[インフルエンス あこのろの僕たち](#)

[花舞い、名残り雪](#)

[詞画集「ただ憧憬だけを」](#)

[画集「彼と彼女の表紙画集」](#)